

019

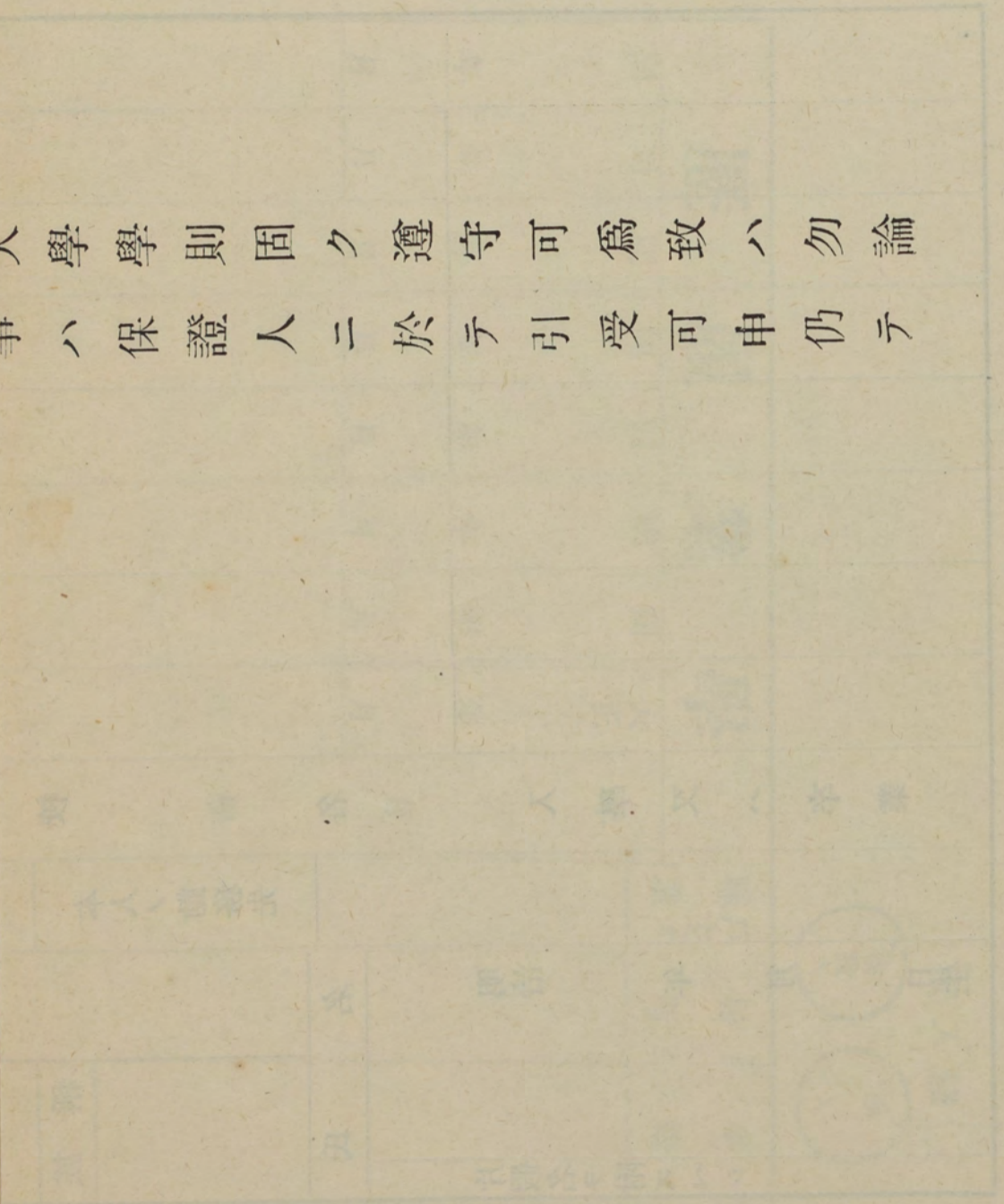
關西大學專門部學則

昭和三年二月



關西大學專門部
學年二

入學學則固ク遵守可爲致ハ勿論
争ハ保證人ニ於テ引受可申仍テ



關西大學專門部

關西大學專門部

貴銘
373

2000051024

昭和二十一年十月一日

印 收 參
紙 入 錢
保 證 人
本 人

本籍	居所	職業主ノ	年 月		大正		同		同		同		同		同	
			年	月	年	月	年	月	年	月	年	月	年	月	年	月
氏 名	氏 名	本人ノ勤務先	年	月	年	月	年	月	年	月	年	月	年	月	年	月
族 稱			學 校	名	入 學	又	ハ	卒 業								
片假名ヲ附スベシ																

入 學 願 書

學 籍 名 簿 出 席 名 札 目 録

右者

科學生トシテ貴大學專門部

科第

學年二

入學志願ニ付御許可相成度此段御願候也

昭和

年

月

日

關西大學專門部學則

第一章 總則

- 第一條 本大學專門部ハ專門學校令ニ據リ高等專門ノ學術ヲ教授ス
- 第二條 本大學專門部ニ法律學科、經濟學科、商業學科及文學科ヲ置ク
- 第三條 本大學專門部ニ高等研究科ヲ附置ス
- 第四條 正科學生ハ徵兵令ノ特典ヲ有ス
- 第五條 本大學ノ休業日左ノ如シ

日曜日、祝祭日、本大學記念日(六月五日及十二月十三日)

右本人

右者入學許可相成候上ハ貴大學學則固ク遵守可爲致ハ勿論
本人在學中ニ於ケル一切ノ事ハ保證人ニ於テ引受可申仍テ
誓約候也

昭和 年 月 日

住 所
保證人

關西大學學長 松本 蒸 治 殿

右本人

右者入學許可相成候上ハ貴
本人在學中ニ於ケル一切ノ
誓約候也

昭和 年 月 日

住所
保證人

關西大學學長 松本 丞治 殿

關西大學專門部學則

第一章 總 則

- 第一條 本大學專門部ハ專門學校令ニ據リ高等專門ノ學術ヲ教授ス
- 第二條 本大學專門部ニ法律學科、經濟學科、商業學科及文學科ヲ置ク
本大學專門部ニ高等研究科ヲ附置ス
- 第三條 本大學專門部學生ヲ分チテ正科學生、特科學生トス
正科學生ハ徵兵令ノ特典ヲ有ス
- 第四條 本大學ノ休業日左ノ如シ
日曜日、祝祭日、本大學記念日（六月五日及十二月十三日）
春季休業 四月一日乃至同十五日
夏季休業 七月十六日乃至九月十日
冬季休業 十二月廿六日乃至翌年一月十日

第二章 學 科

第一節 學 科 課 程

第五條 法律學科、經濟學科、商業學科及文學科ノ學科目及課程左ノ如シ

貴館
473

2000051024

法律學科

第一學年

目

憲法	民法	刑法	刑事訴訟法	經濟學	英語	倫理學	合計	行政法	民法	心理學及論理學
總則、物權、親族、相續	總論、各論	經濟原論						債權	總論	
一〇	四	三	三	二	二	二	八	二	二	二

一週時數

二

第三學年

目

商法	刑法	民法	英語	合計	行政法	商法	民法	破產法	國際公法	國際私法	財政學	英語	哲學概說
總則、會社、商行為	各論	總則				總論	海商論	第二編以下					
二七	二	二	四	二七		三	五	六	二	二	二	六	三

一週時數

三

合計

經濟學科

第一學年

民科

目 總則、物權

一週時數

法學通論

六

商業學

商業通論、銀行及金融

六

經濟學

交通、生命保險

四

社會學

經濟原論

二

英語

六

倫理學

二

合計

二八

第二學年

民科

目 債權

一週時數

心理學及論理學

六

三〇
四

商法
商業學
經濟學
海外經濟事情
英語
合計

總則、會社、商行爲
取引所、倉庫、稅關
火災保險、外國爲替
商業政策、工業政策
東洋經濟事情

五
六
二
二
六
九

商科

第三學年

一週時數

破產法

目 手形、海商

五

商業學

海上保險、外國貿易

二

經濟學

商業政策、殖民政策

四

財政學

二

社會政策

一

海外經濟事情

東洋經濟事情

二

英語

六

哲學概說

二

五

合計

商業學科

第一學年

目

商業學
經濟學
法律學
簿記學
商業地理
商業品學
商業算術
英語又、清語
倫理學
合計

商業通論、銀行及金融
生命保險、交通
經濟原論
法學通論、民法
商業簿記
內國

一週時數

六 三 四 三 二 二 二 一 七 二 三〇
二八 六

第二學年

一週時數

心理學及論理學
商業學
經濟學
法律學
海外經濟事情
簿記
商業地理
商業歷史
商業算術
英語又、清語
合計

取引所、倉庫、稅關
火災保險、外國為替
商業政策、工業政策
民法、商法
東洋經濟事情
銀行簿記
內外國

譯解、會話、商業作文

第三學年

目

商業學
經濟學
法律學
財政學
合計

海上保險、外國貿易
農業政策、植民政策
商法、破產法

一週時數

二 六 二 二 二 一 一 四 四 四 二 七

哲學概說
海外經濟事情
會計學
原價計算
商業歷史
商業文
英語又、清語
國民道德

東洋經濟事情
工業簿記、英文簿記、
會計學
外國
譯解、會話、商業作文

二二二
三二
一七
一一
一一
三
二
二
八

倫理及教育學
歷史及哲學
語學
文學及文學史
第二外國語

倫理學
心理學、文明史
英文講讀、國文講讀、漢
文講讀、作文及修辭學
文學概論、國文學史
佛語又、獨語

一週時數
一
四
一六
四
二

選擇科目
皇室典範、憲法
社會學
合計

第一學年

二二二
二九

倫理及教育學
歷史及哲學
語學
文學及文學史
第二外國語
選擇科目
雄辯學
經濟學
合計

第二學年
目
哲學、西洋思想史、東
洋哲學史

一週時數
七

九

語	英文講讀、國文講讀、	一三
學	漢文講讀、劇研究	一〇
文學及文學史	美學及美術史	四
第二外國語	西洋文學史	二
選擇科目	佛語又ハ獨語	二
政治學		二
社會政策		二
合計		二八

第六條 本大學專門部法律學科、經濟學科、商業學科、文學科ノ修業年限ハ三ケ年トス

第七條 學年ハ四月一日ニ始マリ翌年三月卅一日ニ終ル

第八條 學年ヲ分チテ三學期トス

第一學期 四月一日乃至七月十五日
 第二學期 七月十六日乃至十二月卅一日
 第三學期 一月一日乃至三月卅一日

第二節 入學、在學、退學

第九條 法律學科、經濟學科、商業學科、文學科ニ入學セントスル者ハ第一學年ノ始メニ於テ滿十七歲以上ニシテ以下二條ニ定ムル資格ヲ有スルコトヲ要ス

第十條 正科學生トシテ入學ヲ許スヘキ者ハ左ノ資格ヲ有スルモノニ限ル

一 中學校卒業者

二 專門學校入學者檢定規程ニ依リ試驗檢定ニ合格シタル者

三 文部大臣ニ於テ專門學校入學ニ關シ中學校卒業ト同等以上ノ學力ヲ有スルモノト指定セラレタル學校ノ卒業者

第十一條 前條ノ入學資格ヲ有セサルモノハ左ノ規定ニ依リ特科學生トシテ入學ヲ許ス

一 中學校卒業程度ニ依リ行フ左ノ入學試驗ニ合格シタル者
 國語、漢文、地理、歴史、數學、英語、

二 徵兵令第十三條ニ依リ認定セラレタル學校ノ卒業者

第十二條 第二學年以上ニ入學ヲ許スヘキモノハ前二條ノ資格ヲ有シ當該級編入試驗ニ合格シタルコトヲ要ス

第十三條 入學ハ毎年四月十六日ヨリ三十日間トス
 但他ノ同等ノ專門學校ヨリ轉學スル者及ヒ特科學生ハ此限ニアラス

第十四條 入學志願者ハ入學願書ニ履歷書及保證書戶籍抄本ヲ添ヘ之ヲ差出スヘシ
 保證書ニハ保證人連署ヲ要ス 保證人ハ大阪府下ニ一家計ヲ立ツル者タルコトヲ要ス保證人ヲ不適當ト認メタルトキハ變更セシム

第十五條 退學セントスル者ハ其事由ヲ詳記シ保證人連署ヲ以テ退學願ヲ差出シ許可ヲ受クヘシ

第十六條 左項ノ一ニ該當スル者ハ退學ヲ命ス

- 一 性行不良ニシテ改善ノ見込ナシト認めタル者
- 二 學力劣等ニシテ成業ノ見込ナシト認めタル者
- 三 正當ノ事由ナクシテ引續キ一ヶ月以上缺席シタル者
- 四 引續キ一ヶ年以上缺席シタル者

第十七條 本大學ノ定ムル諸規則又ハ命令ヲ遵守セサル者ハ停學若クハ退學ヲ命ス

第十八條 疾病其他止ムヲ得サル事故ニヨリ修學スル能ハサルトキハ許可ヲ得テ其學年内休學スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ證明書類ヲ添ヘ保證人連署ヲ以テ願出スヘシ

休學ノ許可ヲ得タル者ハ其學年内學年試驗、修了試驗、卒業試驗ヲ受クルコトヲ得ス

第十九條 但休學期間中休學ノ事故消滅シ第三學期ノ始メマテニ出席シタルトキハ此限ニアラス
本人又ハ保證人轉籍轉居若クハ氏名ヲ變更シタルトキハ其旨届出スヘシ
但シ本人轉籍又ハ氏名ヲ變更シタル場合ハ戶籍抄本ヲ添附スルコトヲ要ス

第三節 試驗

第二十條 試驗ヲ受ケントスル者ハ受験願書ヲ差出スヘシ

但學期試驗、學年試驗、卒業試驗ハ之ヲ要セス

第二十一條 學年試驗、卒業試驗ハ第三學期末之ヲ行フ

第二十二條 編入試験、追試験ハ四月之ヲ行フ

第二十三條 編入試験ハ前學年ニ於ケル總テノ課程ヲ修了シタル者ト同等ノ學力程度ニ依リ之ヲ行フ
第二十四條 學年試験、卒業試験ニ際シ疾病其他正當ノ事故ニ由リ之ニ應スル能ハサリシ者ノ爲追試験ヲ行フコトアルヘシ

第四節 學費

第二十五條 入學志願者ハ入學願書ト共ニ入學金參圓ヲ納ムヘシ在學中ハ出席缺席ニ拘ハラズ左ノ授業料ヲ各學期授業開始ノ日ヨリ一週間内ニ納附スヘシ

第一學期 金貳拾八圓

第二學期 金貳拾八圓

第三學期 金貳拾壹圓

但許可ヲ受ケタル者ニ限リ月割ヲ以テ毎月金七圓ヲ前月末迄ニ納ムルコトヲ得月割ヲ以テ納ムルトキハ八月分ヲ要セス

第二十六條 試験手数料左ノ如シ

入學試験金參圓

編入試験、追試験金五圓

第二十七條 休學ノ許可ヲ得タル者ハ授業料ヲ納ムルコトヲ要セス

但休學期間中休學ノ事故消滅シ出席シタル場合ハ休學ノ始メニ遡リテ授業料ヲ納附スルコトヲ要ス

第二十八條 既ニ收納シタル學費ハ何等ノ事由アルモ之ヲ返附セス

第三章 高等研究科

第二十九條 高等研究科ハ法律學、經濟學、商業學及文學ノ學術ヲ深遠ニ討及ヌルヲ以テ目的トス

第三十條 高等研究科學生ヲ分テテ正科學生及特科學生トス

正科學生ノ入學資格ハ左ノ如シ

- 一 本大學專門部各學科正科卒業生
 - 二 本大學專門部ト同一程度ノ他ノ專門學校正科卒業生
- 特科學生ノ入學資格ハ左ノ如シ

一 本大學專門部各學科特科卒業生

二 本大學專門部ト同一程度ノ他ノ專門學校特科卒業生

第三十一條 高等研究科ノ修業年限ハ二ケ年トス

第三十二條 高等研究科ニ於テ研究スル學科目ハ其既修ノ一科目又ハ數科目トス

第三十三條 高等研究科ノ研究方法ハ擔任教授講師ノ指揮ニ依ルモノトス

第三十四條 高等研究科學生ハ本大學專門部ノ講義ヲ傍聽スルコトヲ得

第三十五條 卒業試験ハ論文試験及口述試験トス

第三十六條 高等研究科學生ニシテ試験ヲ受ケントスルトキハ受験願書ニ受験料金拾圓ヲ添ヘ願出ス

ヘシ

第三十七條 研究生試験ニ及シタル時ハ卒業證書ヲ授與シ其專攻科目ニ依リ關西大學專門部法學士

關西大學專門部經濟學士、關西大學專門部商學士、關西大學專門部文學士ノ稱號ヲ認許ス

但シ正科學生トシテ入學セル者ニ限ル

第三十八條 高等研究科學生ハ毎月研究料金五圓ヲ前納スヘシ

第三十九條 本章規定ノ外第二章ノ規定ハ之ヲ高等研究科ニ準用ス

第四章 選科生

第四十條 本大學ノ所定學科目中隨意選擇シテ之ヲ修メントスル者アルトキハ選科生トシテ入學ヲ許可スルコトアルヘシ

第四十一條 選科生ニシテ修了シタル科目ニ就キ其試験ニ合格シタル者ニハ修業證書ヲ授與ス

第四十二條 本章規定ノ外第二章ノ規定ハ之ヲ選科生ニ準用ス

第五章 補則

第四十三條 學期試験細則學生心得ハ別ニ之ヲ定ム

第四十四條 本大學各科ヲ卒業又ハ修了シタル者ニハ左ノ證書ヲ授與ス (雛形略)

學期試驗細則

- 第一條 學期試驗ハ其學期教授學科ノ一科目若クハ數科目ニ就キ之ヲ行フ
- 第二條 學期試驗得點ハ六十點ヲ標準トシ過剩點ハ二分ノ一ヲ不足點ハ四分ノ一ヲ學年試驗總得點ヨリ加減ス
- 第三條 試驗當日ヨリ卅日以前ニ入學シテ學期試驗ニ應セサリシ者又ハ得點三十點未滿ノ者ハ零點ト看做ス

學生心得

- 第一條 凡ソ本大學ニ學生タルモノハ明治二十三年十月三十日ノ勅語ヲ奉戴シ且ツ君師父ノ鴻恩ヲ忘ル可カラズ
- 第二條 品行方正ニシテ禮儀ヲ守リ信義ヲ重シ言語動作ヲ慎ミ本大學所定ノ諸規則ヲ遵守シ學業ヲ勉勵ス可シ
- 第三條 授業及試験定刻ニハ必ス教室ニ出席ス可シ

- 第四條 構内ニ入ルニハ必ス聽講券ニ認印ヲ受ク可シ
- 第五條 構内ニ於テハ靜謐ヲ要ス
- 第六條 構内ニ入ルニハ袴又ハ洋服ヲ着スヘシ
外套襟卷等ハ之ヲ用ユルヲ許サズ
- 第七條 構内ニ於テハ履靴又ハ上草履ヲ穿ツヘシ
- 第八條 講師ノ臨場及退場ニハ必ス起立ノ禮ヲ行フ可シ來賓ノ臨場退場ノトキ亦同シ
- 第九條 授業又ハ試験中ハ總テ講師及職員ノ指圖ニ從フヘシ安ニ座ヲ離レ且ツ發聲私語戲事其他
授業ヲ妨害スル等ノ行爲ヲ禁ス
但シ討論會ニ於テハ拍手喝采其他之ニ類スル行爲ヲ爲スコトヲ得
- 第十條 授業又ハ試験中教室ニ於テ飲食、喫煙、座睡、新聞紙及雜書等展閱スルヲ禁ス
- 第十一條 授業又ハ試験中ハ場外ニ出ルヲ禁ス
但疾病其他止ムヲ得サル事故アルトキハ講師又ハ職員ノ許可ヲ請フ可シ討論會中モ亦同シ
- 第十二條 講師ニ對シ質問又ハ答辯ヲ爲サントスルトキハ必ス起立スヘシ
- 第十三條 學生ハ授業ニ關スル質問ノ外事ヲ講師ニ依談スルヲ禁ス
- 第十四條 事務及教務上ノ事ニ付テハ學生自己ノ意見ヲ強請スルコトヲ得ス
- 第十五條 演說會討論會ヲ催サント欲セハ理事ノ許可ヲ受ク可シ

- 第十六條 學生ハ結社徒黨ノ行爲アル可カラス
- 第十七條 學生ハ金錢物品ヲ醜集ス可カラス
但シ止ムヲ得サル事情アラハ理事ノ許可ヲ受ク可シ
- 第十八條 戸障子、壁、机、椅子、其他一切ノ物品ヲ汚穢シ又ハ毀損ス可カラス
- 第十九條 右ノ規則ニ違反スル者アルトキハ本學ハ之ニ對シテ相當ノ處分ヲ行フ其他不當ノ行爲アルモノト認ムルトキハ亦同シ

關西大學學友會會則

- 第一條 本會ハ關西大學學友會ト稱ス
- 第二條 本會ハ關西大學學生ヲ以テ組織ス
- 第三條 本會ハ關西大學監督ノ下ニ學生ノ自治トス
- 第四條 本會ハ會員相互ノ親睦及善良ナル品性強健ナル體力ヲ養成スルヲ以テ目的トス
- 第五條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク
會長 壹名
副會長 壹名
幹事長 壹名
幹事 若干名
會計主任 壹名
- 第六條 會長ニハ關西大學學長ヲ又副會長ニハ同大學理事ノ内壹名ヲ推ス
幹事ハ各科各學年毎ニ會員中ヨリ之ヲ選舉ス
幹事長ハ幹事之ヲ互選ス
會計主任ハ關西大學會計主任ヲ推ス
幹事ノ任期ハ壹ケ年トス但再選ヲ妨ケズ
幹事ハ任期中ト雖モ幹事會ニ於テ幹事總員ノ拾分ノ七以上ノ決議ニ依リ會長ノ認可ヲ得タルトキニ限り解職スルコトヲ得幹事ニ缺員ヲ生ジタルトキハ當該科學年ニ於テ之ガ補缺選舉ヲ爲ス補缺幹事
- 第七條 ノ任期ハ前任者ノ殘任期トス
役員ノ職務左ノ如シ
一、會長ハ本會ヲ總理ス
二、副會長ハ會長ヲ補佐シ會長差支アル時代理ス
三、幹事長ハ幹事ヲ指揮シ幹事會ヲ代表シ同會ヲ招集ス
四、幹事ハ會務ヲ處理ス
五、會計主任ハ金錢ノ出納及保管ヲ爲ス
- 第八條 幹事會ハ幹事半數以上出席シ出席者過半數ノ同意ヲ以テ議決ス、可否同數ナルトキハ幹事長之ヲ決ス
會長、副會長及會計主任ハ幹事會ニ於テ意見ヲ述フル事ヲ得幹事會ノ招集通知ハ關西大學校内適當ナル場所ニ揭示シテ之ヲ爲ス
- 第九條 本會ノ事業ヲ左ノ部ニ分ツ
第一部 文藝部
第二部 運動部
角力部
庭球部
野球部
武術部

水上
陸上
馬術

第三部 向上部
第四部 辯論部
幹事會ノ決議及會長ノ認可ヲ經テ一定期間一種又ハ數種ノ事業ヲ休止スルコトヲ得各部ニ部長一名ヲ置ク部長ハ幹事會ノ決議ヲ以テ幹事會中ヨリ選任ス

第十條

本會ニ於テ舉行スル事業ハ豫メ會長ニ報告ス
會長ハ事業ノ延期又ハ廢止ヲ命ズルコトヲ得

第十一條

會員ハ入會ノ際入會金貳圓及毎月本會々費金五拾錢ヲ授業料ト共ニ會計主任ヘ納ムベシ

第十二條

會計年度ハ毎年一月一日ヨリ十二月卅一日迄トス
會計年度ハ其ノ年度ノ事業費ニ充當ス

第十三條

幹事會ニ於テハ毎年收支豫算ヲ調製シ會長ノ認可ヲ受クベシ豫算ニハ各部及全部ニ分ツコトヲ要ス

第十四條

基本金ノ支出ハ幹事會ニ於テ幹事總員ノ拾分ノ七以上ノ同意ヲ以テ議決シ本大學校友會常議員會ノ同意ヲ得會長ノ認可ヲ經ルヲ要ス

第十五條

年度末ノ剩餘金ハ次年度ニ繰越ス

第十六條

金銭ノ支出ハ會計主任ニ於テ支拂ヲ受クベキ者ニ對シ直接之ヲ爲ス

第十七條

止ムヲ得ザル場合ニ於テハ幹事長ハ假出ヲ爲シタル上支拂ヲ爲スコトヲ得此場合ニ於テハ幹事長ハ事由ヲ明記シタル假出金領收書ヲ差出スベシ

支拂ヲ要スルトキハ當該部長幹事長及會長ノ認印アル傳票ヲ會計主任ヘ提出スルコトヲ要ス、全部ニ關スル費用ノ支出ニ就テハ幹事長、總務、會長ハ傳票ニ認印ヲ爲スコトヲ要ス會計主任自己管掌事務ノ爲メ金銭ノ支出ヲ要スルトキハ自ラ傳票ニ認印シ幹事長及會長ノ認印ヲ受クルコトヲ要ス

但幹事長及當該部長事故ノ爲メ一ヶ月以上出校セザル時ニ於テハ幹事總員ノ拾分ノ七以上ノ同意ヲ以テ之ガ支拂ヲ爲スコトヲ得

會計主任及幹事長ガ支拂ヲ爲シタルトキハ必ず支拂先ヨリ領收書ヲ徵スベシ

但シ性質上領收書ヲ徵スル能ハザルモノハ支拂人ニ於テ事由ヲ記シ署名認印シタル書面ヲ作り領收書ニ代ユルコトヲ得

幹事長ガ假出金ニヨリ支拂ヲ爲シタルトキハ遲滞ナク決算書ヲ作成シ各領收書ト共ニ會計主任ニ差出シ假領收書ト引換フベシ領收書ニハ各支拂事項ヲ明ニ記載セシムベシ之ヲ記載セシムル能ハザルトキハ支拂者其事項ヲ記シ認印スベシ

各部會計監督機關トシテ總務部ヲ置ク總務員ハ各科二、三年幹事會中ヨリ各壹名ヲ五選シ總務部長

止ムヲ得ザル場合ニ於テハ幹事長ハ假出ヲ爲シタル上支拂ヲ爲スコトヲ得此場合ニ於テハ幹事長ハ事由ヲ明記シタル假出金領收書ヲ差出スベシ

支拂ヲ要スルトキハ當該部長幹事長及會長ノ認印アル傳票ヲ會計主任ヘ提出スルコトヲ要ス、全部ニ關スル費用ノ支出ニ就テハ幹事長、總務、會長ハ傳票ニ認印ヲ爲スコトヲ要ス會計主任自己管掌事務ノ爲メ金銭ノ支出ヲ要スルトキハ自ラ傳票ニ認印シ幹事長及會長ノ認印ヲ受クルコトヲ要ス

但幹事長及當該部長事故ノ爲メ一ヶ月以上出校セザル時ニ於テハ幹事總員ノ拾分ノ七以上ノ同意ヲ以テ之ガ支拂ヲ爲スコトヲ得

會計主任及幹事長ガ支拂ヲ爲シタルトキハ必ず支拂先ヨリ領收書ヲ徵スベシ

但シ性質上領收書ヲ徵スル能ハザルモノハ支拂人ニ於テ事由ヲ記シ署名認印シタル書面ヲ作り領收書ニ代ユルコトヲ得

幹事長ガ假出金ニヨリ支拂ヲ爲シタルトキハ遲滞ナク決算書ヲ作成シ各領收書ト共ニ會計主任ニ差出シ假領收書ト引換フベシ領收書ニハ各支拂事項ヲ明ニ記載セシムベシ之ヲ記載セシムル能ハザルトキハ支拂者其事項ヲ記シ認印スベシ

各部會計監督機關トシテ總務部ヲ置ク總務員ハ各科二、三年幹事會中ヨリ各壹名ヲ五選シ總務部長

止ムヲ得ザル場合ニ於テハ幹事長ハ假出ヲ爲シタル上支拂ヲ爲スコトヲ得此場合ニ於テハ幹事長ハ事由ヲ明記シタル假出金領收書ヲ差出スベシ

支拂ヲ要スルトキハ當該部長幹事長及會長ノ認印アル傳票ヲ會計主任ヘ提出スルコトヲ要ス、全部ニ關スル費用ノ支出ニ就テハ幹事長、總務、會長ハ傳票ニ認印ヲ爲スコトヲ要ス會計主任自己管掌事務ノ爲メ金銭ノ支出ヲ要スルトキハ自ラ傳票ニ認印シ幹事長及會長ノ認印ヲ受クルコトヲ要ス

但幹事長及當該部長事故ノ爲メ一ヶ月以上出校セザル時ニ於テハ幹事總員ノ拾分ノ七以上ノ同意ヲ以テ之ガ支拂ヲ爲スコトヲ得

會計主任及幹事長ガ支拂ヲ爲シタルトキハ必ず支拂先ヨリ領收書ヲ徵スベシ

但シ性質上領收書ヲ徵スル能ハザルモノハ支拂人ニ於テ事由ヲ記シ署名認印シタル書面ヲ作り領收書ニ代ユルコトヲ得

幹事長ガ假出金ニヨリ支拂ヲ爲シタルトキハ遲滞ナク決算書ヲ作成シ各領收書ト共ニ會計主任ニ差出シ假領收書ト引換フベシ領收書ニハ各支拂事項ヲ明ニ記載セシムベシ之ヲ記載セシムル能ハザルトキハ支拂者其事項ヲ記シ認印スベシ

各部會計監督機關トシテ總務部ヲ置ク總務員ハ各科二、三年幹事會中ヨリ各壹名ヲ五選シ總務部長

止ムヲ得ザル場合ニ於テハ幹事長ハ假出ヲ爲シタル上支拂ヲ爲スコトヲ得此場合ニ於テハ幹事長ハ事由ヲ明記シタル假出金領收書ヲ差出スベシ

支拂ヲ要スルトキハ當該部長幹事長及會長ノ認印アル傳票ヲ會計主任ヘ提出スルコトヲ要ス、全部ニ關スル費用ノ支出ニ就テハ幹事長、總務、會長ハ傳票ニ認印ヲ爲スコトヲ要ス會計主任自己管掌事務ノ爲メ金銭ノ支出ヲ要スルトキハ自ラ傳票ニ認印シ幹事長及會長ノ認印ヲ受クルコトヲ要ス

但幹事長及當該部長事故ノ爲メ一ヶ月以上出校セザル時ニ於テハ幹事總員ノ拾分ノ七以上ノ同意ヲ以テ之ガ支拂ヲ爲スコトヲ得

會計主任及幹事長ガ支拂ヲ爲シタルトキハ必ず支拂先ヨリ領收書ヲ徵スベシ

但シ性質上領收書ヲ徵スル能ハザルモノハ支拂人ニ於テ事由ヲ記シ署名認印シタル書面ヲ作り領收書ニ代ユルコトヲ得

幹事長ガ假出金ニヨリ支拂ヲ爲シタルトキハ遲滞ナク決算書ヲ作成シ各領收書ト共ニ會計主任ニ差出シ假領收書ト引換フベシ領收書ニハ各支拂事項ヲ明ニ記載セシムベシ之ヲ記載セシムル能ハザルトキハ支拂者其事項ヲ記シ認印スベシ

各部會計監督機關トシテ總務部ヲ置ク總務員ハ各科二、三年幹事會中ヨリ各壹名ヲ五選シ總務部長

止ムヲ得ザル場合ニ於テハ幹事長ハ假出ヲ爲シタル上支拂ヲ爲スコトヲ得此場合ニ於テハ幹事長ハ事由ヲ明記シタル假出金領收書ヲ差出スベシ

支拂ヲ要スルトキハ當該部長幹事長及會長ノ認印アル傳票ヲ會計主任ヘ提出スルコトヲ要ス、全部ニ關スル費用ノ支出ニ就テハ幹事長、總務、會長ハ傳票ニ認印ヲ爲スコトヲ要ス會計主任自己管掌事務ノ爲メ金銭ノ支出ヲ要スルトキハ自ラ傳票ニ認印シ幹事長及會長ノ認印ヲ受クルコトヲ要ス

但幹事長及當該部長事故ノ爲メ一ヶ月以上出校セザル時ニ於テハ幹事總員ノ拾分ノ七以上ノ同意ヲ以テ之ガ支拂ヲ爲スコトヲ得

會計主任及幹事長ガ支拂ヲ爲シタルトキハ必ず支拂先ヨリ領收書ヲ徵スベシ

但シ性質上領收書ヲ徵スル能ハザルモノハ支拂人ニ於テ事由ヲ記シ署名認印シタル書面ヲ作り領收書ニ代ユルコトヲ得

幹事長ガ假出金ニヨリ支拂ヲ爲シタルトキハ遲滞ナク決算書ヲ作成シ各領收書ト共ニ會計主任ニ差出シ假領收書ト引換フベシ領收書ニハ各支拂事項ヲ明ニ記載セシムベシ之ヲ記載セシムル能ハザルトキハ支拂者其事項ヲ記シ認印スベシ

各部會計監督機關トシテ總務部ヲ置ク總務員ハ各科二、三年幹事會中ヨリ各壹名ヲ五選シ總務部長

止ムヲ得ザル場合ニ於テハ幹事長ハ假出ヲ爲シタル上支拂ヲ爲スコトヲ得此場合ニ於テハ幹事長ハ事由ヲ明記シタル假出金領收書ヲ差出スベシ

支拂ヲ要スルトキハ當該部長幹事長及會長ノ認印アル傳票ヲ會計主任ヘ提出スルコトヲ要ス、全部ニ關スル費用ノ支出ニ就テハ幹事長、總務、會長ハ傳票ニ認印ヲ爲スコトヲ要ス會計主任自己管掌事務ノ爲メ金銭ノ支出ヲ要スルトキハ自ラ傳票ニ認印シ幹事長及會長ノ認印ヲ受クルコトヲ要ス

但幹事長及當該部長事故ノ爲メ一ヶ月以上出校セザル時ニ於テハ幹事總員ノ拾分ノ七以上ノ同意ヲ以テ之ガ支拂ヲ爲スコトヲ得

會計主任及幹事長ガ支拂ヲ爲シタルトキハ必ず支拂先ヨリ領收書ヲ徵スベシ

但シ性質上領收書ヲ徵スル能ハザルモノハ支拂人ニ於テ事由ヲ記シ署名認印シタル書面ヲ作り領收書ニ代ユルコトヲ得

幹事長ガ假出金ニヨリ支拂ヲ爲シタルトキハ遲滞ナク決算書ヲ作成シ各領收書ト共ニ會計主任ニ差出シ假領收書ト引換フベシ領收書ニハ各支拂事項ヲ明ニ記載セシムベシ之ヲ記載セシムル能ハザルトキハ支拂者其事項ヲ記シ認印スベシ

各部會計監督機關トシテ總務部ヲ置ク總務員ハ各科二、三年幹事會中ヨリ各壹名ヲ五選シ總務部長

止ムヲ得ザル場合ニ於テハ幹事長ハ假出ヲ爲シタル上支拂ヲ爲スコトヲ得此場合ニ於テハ幹事長ハ事由ヲ明記シタル假出金領收書ヲ差出スベシ

支拂ヲ要スルトキハ當該部長幹事長及會長ノ認印アル傳票ヲ會計主任ヘ提出スルコトヲ要ス、全部ニ關スル費用ノ支出ニ就テハ幹事長、總務、會長ハ傳票ニ認印ヲ爲スコトヲ要ス會計主任自己管掌事務ノ爲メ金銭ノ支出ヲ要スルトキハ自ラ傳票ニ認印シ幹事長及會長ノ認印ヲ受クルコトヲ要ス

但幹事長及當該部長事故ノ爲メ一ヶ月以上出校セザル時ニ於テハ幹事總員ノ拾分ノ七以上ノ同意ヲ以テ之ガ支拂ヲ爲スコトヲ得

會計主任及幹事長ガ支拂ヲ爲シタルトキハ必ず支拂先ヨリ領收書ヲ徵スベシ

但シ性質上領收書ヲ徵スル能ハザルモノハ支拂人ニ於テ事由ヲ記シ署名認印シタル書面ヲ作り領收書ニ代ユルコトヲ得

幹事長ガ假出金ニヨリ支拂ヲ爲シタルトキハ遲滞ナク決算書ヲ作成シ各領收書ト共ニ會計主任ニ差出シ假領收書ト引換フベシ領收書ニハ各支拂事項ヲ明ニ記載セシムベシ之ヲ記載セシムル能ハザルトキハ支拂者其事項ヲ記シ認印スベシ

各部會計監督機關トシテ總務部ヲ置ク總務員ハ各科二、三年幹事會中ヨリ各壹名ヲ五選シ總務部長

止ムヲ得ザル場合ニ於テハ幹事長ハ假出ヲ爲シタル上支拂ヲ爲スコトヲ得此場合ニ於テハ幹事長ハ事由ヲ明記シタル假出金領收書ヲ差出スベシ

支拂ヲ要スルトキハ當該部長幹事長及會長ノ認印アル傳票ヲ會計主任ヘ提出スルコトヲ要ス、全部ニ關スル費用ノ支出ニ就テハ幹事長、總務、會長ハ傳票ニ認印ヲ爲スコトヲ要ス會計主任自己管掌事務ノ爲メ金銭ノ支出ヲ要スルトキハ自ラ傳票ニ認印シ幹事長及會長ノ認印ヲ受クルコトヲ要ス

但幹事長及當該部長事故ノ爲メ一ヶ月以上出校セザル時ニ於テハ幹事總員ノ拾分ノ七以上ノ同意ヲ以テ之ガ支拂ヲ爲スコトヲ得

會計主任及幹事長ガ支拂ヲ爲シタルトキハ必ず支拂先ヨリ領收書ヲ徵スベシ

但シ性質上領收書ヲ徵スル能ハザルモノハ支拂人ニ於テ事由ヲ記シ署名認印シタル書面ヲ作り領收書ニ代ユルコトヲ得

幹事長ガ假出金ニヨリ支拂ヲ爲シタルトキハ遲滞ナク決算書ヲ作成シ各領收書ト共ニ會計主任ニ差出シ假領收書ト引換フベシ領收書ニハ各支拂事項ヲ明ニ記載セシムベシ之ヲ記載セシムル能ハザルトキハ支拂者其事項ヲ記シ認印スベシ

各部會計監督機關トシテ總務部ヲ置ク總務員ハ各科二、三年幹事會中ヨリ各壹名ヲ五選シ總務部長

止ムヲ得ザル場合ニ於テハ幹事長ハ假出ヲ爲シタル上支拂ヲ爲スコトヲ得此場合ニ於テハ幹事長ハ事由ヲ明記シタル假出金領收書ヲ差出スベシ

支拂ヲ要スルトキハ當該部長幹事長及會長ノ認印アル傳票ヲ會計主任ヘ提出スルコトヲ要ス、全部ニ關スル費用ノ支出ニ就テハ幹事長、總務、會長ハ傳票ニ認印ヲ爲スコトヲ要ス會計主任自己管掌事務ノ爲メ金銭ノ支出ヲ要スルトキハ自ラ傳票ニ認印シ幹事長及會長ノ認印ヲ受クルコトヲ要ス

但幹事長及當該部長事故ノ爲メ一ヶ月以上出校セザル時ニ於テハ幹事總員ノ拾分ノ七以上ノ同意ヲ以テ之ガ支拂ヲ爲スコトヲ得

會計主任及幹事長ガ支拂ヲ爲シタルトキハ必ず支拂先ヨリ領收書ヲ徵スベシ

但シ性質上領收書ヲ徵スル能ハザルモノハ支拂人ニ於テ事由ヲ記シ署名認印シタル書面ヲ作り領收書ニ代ユルコトヲ得

幹事長ガ假出金ニヨリ支拂ヲ爲シタルトキハ遲滞ナク決算書ヲ作成シ各領收書ト共ニ會計主任ニ差出シ假領收書ト引換フベシ領收書ニハ各支拂事項ヲ明ニ記載セシムベシ之ヲ記載セシムル能ハザルトキハ支拂者其事項ヲ記シ認印スベシ

第十九條 ハ總務員ノ五選ニ依リ決定ス
幹事長ニ於テ本會ノ負擔ニ歸スベキ債務(掛買ノ類)ヲ生ズル行爲ヲ爲スニハ豫メ書面ヲ以テ會長ノ承諾ヲ受ク可シ幹事ニ於テ前項ノ行爲ヲ爲サントスルトキハ幹事長ノ書面承諾ヲ受ケ前項ニ依リ會長ノ承諾ヲ受クベシ

第二十條 會長ハ第十七條及前條ニ規定シタル自己ノ職務ノ一部ヲ會計主任ニ委託スルコトヲ得

第二十一條 會計主任ハ帳簿ヲ備ヘ金銭ノ出納及債權、債務ヲ明確ニ記入スベシ
傳票及領收書ハ三ヶ年間保存スベシ

第二十二條 本會ハ幹事會ノ決議ヲ以テ會長ノ認可ヲ得毎年本大學卒業式舉行ノ際相當ノ記念品ヲ本學ニ寄附ス

第二十三條 幹事會細則ハ幹事會ニ於テ之ヲ定メ會長ノ認可ヲ得各部細則ハ當該部主任ニ於テ之ヲ定メ幹事長及會長ノ認可ヲ得テ各之ヲ施行ス之ガ變更廢止モ亦同ジ

第二十四條 本會會則ノ變更廢止ハ幹事總員ノ三分ノ二以上出席者三分ノ二以上ノ同意ヲ以テ議決シ會長ノ認可ヲ得テ施行ス

第二十五條 基本金ニ關スル規定ノ變更廢止ハ前項ニ依ルノ外關西大學校友會常議員會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス毎年收支決算ハ關西大學校友會常議員會ノ檢査ヲ經テ會員ニ報告ス

附 則
本則ハ昭和三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

● 授業ハ午後五時ヨリ開始ス

關西大學

千里山學舍	電話大阪外 吹田一千 里三
福島學舍	電話土佐堀 一七三七 〇四九
振替口座大阪	一七五七 〇〇五
大阪市上	福島